



さとたん通信

編集:鈴村

2024年度 さとたん総会開催

安心して自然を感じられる里山に

2024年度横須賀里山田んぼ倶楽部総会が、5月19日に開催された。会員49人中25人が出席し、実施報告や計画案・会計の報告・役員人数の変更や選出等、全ての議案が可決された。

里山管理の3つの柱は、『里山林の整備』『田んぼの整備』『畑作・果樹育成への試み』。森林交付金活動は2期2年目に入り、さらなる整備を行っていく。

その他の重点取り組みとして、5段田んぼまでの「里山重点エリア」横須賀市の業務委託・「民間連携里山エリア」の展開・希少植物等の保護・交付金等による耕運機など機材の充実等が確認された。

植森会長からは、次のような挨拶があった。

「昨年度は、さとたん皆さんの協力と努力により、沢山池周辺が横須賀市の公園として認知され利用度が上がってきてお

5月18日 講習生と共に
行なわれた代掻き



り、新たな年度が始まる今、一層の団結と努力が求められる時だと感じています。

私たちは里山の豊かさを守り、沢山池周辺の里山の環境の保全や維持管理を通して、訪れた人たちが安心して自然を感じられる場を提供したいと思っています。

また今年もたくさんの方の活動やイベントが予定されています。さとたん会員の協力により、安全で楽しく有意義なさとたん活動に参加して頂きたく、役員一同協力して取り組めますので、今後ともよろしくお願い致します」

田植え終わり水と向き合う毎日

5月半ばから6月にかけて、約一ヶ月間に渡る田植えが終わった。ひと段落着いたと言いたいのところだが、悩ましいのは田んぼの水の管理だ。毎週土曜日の活動日以外の日も、毎日のように田んぼの水の状態をチェックする数人のさとたん会員の姿がある。



活動日の数時間の間でも、1つの穴を埋めるとまた別の所に穴ができるというイタチごっこのような状況である。「あのような苦労があったね」と昔話のように話せる日が来ることを願う。

美しい里山映像チャンネル

YouTubeに「柴犬こむぎとボクの三浦半島」という登録者数30万人を超えるチャンネルがある。その中で「柴犬こむぎ(雄4才)が大好きな里山」と表現されているのが長坂緑地なのである。

最新の里山の映像では、田植え前の田んぼの様子が見られる。

「あるじ」が里山を走り回ったり、橋の上で休んだりしている姿を見ると、ステキな場所作りに携わっているという思いを抱くのではないだろうか。

「柴犬こむぎが突然クイズを出す時、飼い主はキノコの栽培に成功する【あるじのステップ】」

里山の様子は、3分16秒から最後まで



かつては釣り堀だった！沢山池

沢山池は、1936(昭和11)年に付近の田んぼへの水の供給を行なう農業用水地として作られた。

だが、40年ほどでその役目を終え、2000年までの間はヘラブナ中心の釣り堀であった。

釣り堀の魚を目当てにカモやサギなどの水鳥がたくさんやってきたそうだが、営業を終え水が抜かれた後はヤナギが生え、水鳥たちも姿を消した。



手前の釣り人の横には魚を待つカモが立つ



土手が駐車場だった?!
(元役員青の親戚二留さん提供)

当時の池の様子を知る近隣住人は「安全のためとはいえ、水が抜かれたときは悲しかった。また水が入り、昔のように水鳥たちが戻ってきてくれるとうれしい」と話した。